

(第一紙) T13p298a02~

1 大集經月藏分第十二初品 卷一

2 如是我聞一時佛在佉羅帝山牟尼諸仙所
 3 依住處與大比丘衆有學無學六万人於
 4 諸煩惱堅牢纏縛悉得解□唯勤□便□斷
 5 習氣及諸菩薩摩訶薩衆无量无边不可^竿
 6 (婁十支)²不可稱計悉得忍力化諸龍衆說日藏經
 7 已即時西方現大華雲所謂^憂波羅華波頭
 8 摩華拘牟陀華芬陀利華阿提目多華瞻波
 9 迦華婆利師迦華如是華雲悉皆來現其華
 10 雲中現一半月廣十由旬「復現真
 11 金重閣講堂莊嚴微妙其堂光明過□千万
 12 億日月光明其光悉照佉羅帝山復現種種
 13 奇異華雲所謂^憂波羅華乃至婆利師迦華
 14 其華光艷照牟尼仙所依住處又復現於^七
 15 寶五柱重閣講堂甚奇微妙隱蔽日月光不
 16 能現於其堂中復現半月於半月中有於千
 17 華⁶青色蓮華其華臺上復有世尊端坐說法
 18 其光普照一切大衆一一頭上皆現半月微
 19 妙天鬘復雨種種寶種種華種種香
 20 尔時慧命大目犍連見如是等神通變化生
 21 希有心又知大衆心有所疑從坐而起偏袒
 22 右肩右膝著地合掌向佛而說偈言

(第一紙) T13p298a27~

- 1 唯¹佛悉除諸煩惱 □盲冥中能覺悟
- 2 為群生故 (門十牛)⁸惡趣 令諸衆生住善道
- 3 唯⁹佛降伏諸億魔 令諸外道失光顯
- 4 調伏衆生住檀尸 枯涸衆生煩惱海

1 竿¹算【大】 大正藏に校注なし。
 2 「(婁十支)」の右に「數」の字あり。(婁十支) || 數【大】
 3 憂¹優【大】
 4 憂¹優【大】
 5 一又復現於【大】
 6 華¹葉【大】
 7 唯¹惟【大】
 8 (門十牛) || 閉【大】 大正藏に校注なし。
 9 唯¹惟【大】

- 5 八功德水令洗浴 以覺分寶濟衆生
- 6 无量億衆入涅槃 能轉无上法輪寶
- 7 一切所有諸龍衆 為瞋所使行諸惡
- 8 渴愛所逼无有慈 唯佛能益令歸信
- 9 四天下龍皆未^三集 一心歸於佛法僧
- 10 盡諸業障及煩惱 皆護正法而安住
- 11 於此復現妙華雲 中有半月光照曜
- 12 一切現此半月鬘 今當欲有何佛事
- 13 積此諸華如大山 雨諸香華及衆寶
- 14 大衆觀瑞心有疑 當欲雨於何法雨
- 15 此處微妙^四敢^五第一 如此大衆皆依住
- 16 於諸過佛脩供養 是人師子如是來
- 17 尔時佛告大目犍連西方有世界名月勝佛
- 18 号日月光有月藏童真菩薩摩訶薩將諸眷
- 19 属八十億那由他百千菩薩摩訶薩欲來向
- 20 此為欲見我礼拜供養與大衆集說欲随喜^三
- 21 又欲付嘱諸天龍夜叉^四乾闥婆等^五法眼故應
- 22 時月藏菩薩摩訶薩與其眷属八十億那由
- 23 他百千菩薩摩訶薩從彼世界來至佛所頭
- 24 面礼足右邊^三迺^四住立佛前皆悉合掌一音

(第二紙) T13p298b23~

- 1 說偈
- 2 吉祥无数劫 所脩為衆生 吉祥見衆生 生死苦所逼
- 3 吉祥以檀施 大仙作饒益 吉祥能行施 超越於人天
- 4 吉祥護淨戒 衆生不能動 吉祥令怒者 住於慈善心
- 5 吉祥發勇進 度脱懈怠者 吉祥離惡道 安置於善趣
- 6 吉祥善脩忍 容恕怒惡心 吉祥希有事 是故悉歸依
- 7 吉祥脩諸禪 諸天生希有 吉祥悉枯竭 衆生諸苦海
- 8 吉祥薰^三脩智 追迴惡道輪 吉祥上菩提 到最難到處

¹⁰ 唯^二惟【大】

¹¹ 「未」の右に「来」の字あり。未^二来【大】

¹² 「敢」の右に「最」の字あり。敢^二最【大】

¹³ 「喜」の異体字か。右に「喜」の字あり。

¹⁴ 軋^二乾【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁵ 十正【大】

¹⁶ 迺^二匝【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁷ 薰^二熏【大】 大正蔵に校注なし。

- 9 吉祥降魔衆 建立正法幢 吉祥所轉者 最是正法輪
 10 吉祥愍異空 降伏諸外道 吉祥降法雨 充足渴世間
 11 吉祥作明證 天人¹⁸ 輒¹⁹ 闔²⁰ 婆 吉祥滿世界 我為最上師
 12 吉祥安四果 應受世供養 吉祥令億衆 安²¹ 處²² 於涅槃
 13 吉祥久²³ 時住²⁴ 法眼所建立 吉祥久住世 世間無與等
 14 吉祥菩提果 衆²⁵ 今²⁶ 獲大利 吉祥為衆生 宣說無上法
 15 吉祥以法水 洗浴諸衆生 吉祥善能度 是諸天人等
 16 吉祥能顯現 无垢真妙法 吉祥除衆生 所有諸煩惱
 17 吉祥諸僧衆 世間最第一 吉祥善生世 能益於人天
 18 吉祥令四衆 明淨善光顯 吉祥令四衆 全護戒律儀
 19 吉祥行檀捨 持戒及精進 吉祥脩忍禪 及以妙般若
 20 吉祥大梵王 娑婆世界主 吉祥大²⁷ 魔²⁸ 王 諸欲自在²⁹ 士³⁰
 21 吉祥憍尸迦 輔佐諸眷屬 吉祥諸天衆 及諸宮殿等
 22 吉祥毗沙門 及諸夜叉衆 吉祥提頭賴 眷屬³¹ 輒³² 闔³³ 婆
 23 吉祥毗樓勒 并與鳩槃³⁴ 茶³⁵ 吉祥毗樓博 及諸龍軍衆
 24 吉祥日月天 星辰及諸宿 吉祥大自在 兒及造界主

(第四紙) T13p299a11 ~

- 1 吉祥風火神 及以地神等 吉祥諸龍衆 及以阿脩羅
 2 吉祥諸羅刹 及與緊那羅 吉祥迦樓羅 摩睺羅伽等
 3 吉祥雨甘雨 行雨大神王 吉祥護持國 一切人中王
 4 吉祥婆羅門 刹利毗舍隄 吉祥所供養 最勝尊導師
 5 吉祥願聞者 真正無過法 吉祥諸現未 供養三寶者
 6 吉祥一切衆 滅除諸煩惱 吉祥諸衆生 同住於正法
 7 吉祥檀尸羅 精進之彼岸 吉祥禪那³⁶ 渡³⁷ 忍辱波羅蜜
 8 吉祥諸一切 到彼智岸者 吉祥令諸病 一切皆除愈
 9 吉祥皆休息 一切濁惡世 吉祥諸衆生 願令悉解脫
 10 吉祥令一切 悉得諸无漏 吉祥於大地 種子所生者
 11 吉祥諸禾稼 藥草樹林果 吉祥彼一切 依時悉成熟

¹⁸ 輒¹⁹ 乾【大】 大正藏に校注なし。

¹⁹ 處²⁰ 住【大】

²⁰ 時住²¹ 住時【大】

²¹ 今²² 所【大】

²² 「魔」の右に「魔」の字あり。

²³ 士²⁴ 王【大】

²⁴ 輒²⁵ 乾【大】 大正藏に校注なし。

²⁵ 茶²⁶ 茶【大】

²⁶ 渡²⁷ 度【大】

- 12 吉祥勝地精 一切處充滿 吉祥人精氣 一切皆安住
- 13 吉祥法精氣 充滿一切衆 吉祥皆休息 一切諸罪惡
- 14 吉祥令衆生 而得勝菩提 吉祥於諸法 **息**在到彼岸
- 15 吉祥正法雨 普潤諸衆生 吉祥諸衆生 悉度於三有
- 16 吉祥令一切 悉證大涅槃
- 17 大德婆伽婆我今欲說吉祥章句大力神呪
- 18 如是神呪過去諸仙之所宣說建立守護善
- 19 能增長吉祥之事能除一切罪垢惡見入諸
- 20 善根增長大悲以此呪句悉能資益一切衆
- 21 生乃至一切驪鹿鳥獸所得聞者令如是等
- 22 心得安隱離濁惡世一切諸障衆生障法障
- 23 如是等障皆悉休息一切善根隨所觸法令
- 24 得入心念慧堅固名稱形色人⁸⁸所喜⁸⁹樂勇健

(第五紙) T13p299b21 ~

- 1 无畏於十善業道堅固安住檀波羅蜜乃至
- 2 般若波羅蜜四念處乃至十八不共法堅固
- 3 安住大慈大悲大方便力一切種智乃至究
- 4 竟无上涅槃⁹⁰堅固安住除其造作五无间業
- 5 誹謗正法毀⁹¹賢聖斷常二見唯除如是諸
- 6 罪人等是吉祥句常為先聖建立加護如此
- 7 呪句亦復能令諸天信受得入十善業道亦
- 8 令⁹²入檀波羅蜜乃至般若波羅蜜四念處乃
- 9 至十八不共法大慈大悲大方便力乃至一
- 10 切種智无上涅槃復能令彼諸魔眷属悉得
- 11 歸信諸神⁹³龍王夜叉羅刹阿脩羅⁹⁴闍婆緊
- 12 那羅⁹⁵樓羅摩睺羅伽餓鬼毗舍闍利利婆
- 13 羅門毗舍首陀令入十善業道檀波羅蜜乃
- 14 至般若波羅蜜大慈大悲大方便力四念處

²⁷ 「息」の右に「自」の字あり。息||自【大】

²⁸ 「人」の右に「人」の字あり。

²⁹ 「喜」の異体字か。右に「喜」の字あり。

³⁰ 「涅槃」の右に「涅槃」の字あり。

³¹ 譬||皆【大】 大正蔵に校注なし。

³² 十得【大】

³³ 「神」の右に「神」の字あり。

³⁴ 軋||乾【大】 大正蔵に校注なし。

³⁵ 迦||伽【大】

- 15 乃至十八不共法一切智一切種智无上涅槃
 16 槃唯³⁶除五逆誹謗正法毀譽³⁷賢聖作是語已
 17 而說呪曰
 18 多地夜他 梅達梨 梅達囉毗提 梅達囉磨³⁸吽
 19 梅達囉婆婆犀 梅達囉跋帝 梅達囉不嚟 梅達囉婆吟
 20 梅達囉差帝嚟 梅達囉闍移 梅達囉頰寄 梅達囉底嚟
 21 梅達囉跋³⁹吽⁴⁰ 梅突嘍 梅達囉婆囉吟 梅達囉勿達嚟⁴¹
 22 梅達囉娑⁴²地移 梅達囉娑⁴³吽⁴⁴ 梅達囉佉祇 梅達囉因達嚟⁴⁵
 23 梅達囉惡差 梅達囉利⁴⁶鞞 梅達囉簸利鞞 梅達囉⁴⁷■⁴⁷
 24 梅達囉悉那帝 梅達囉簸 (長十百)⁴⁸ 梅達囉頰泥 梅達囉祇嚟⁴⁹

(第六紙) T13p299c18~

- 1 梅達囉博差 梅達囉悉泥吟 梅達囉盧⁵⁰吽⁵⁰ 梅達囉鳩閉
 2 梅達囉娑閉 梅達囉受婆 (上十天十入十米)⁵¹ 梅達囉賓滯 梅達囉惡差
 3 梅達囉 (十十婁十支)⁵²帝 梅達囉伽泥 梅達囉什鞞 梅達囉悉鉢尸
 4 梅達囉磨泥 梅達囉跋帝 迷底唎耶跋帝 迦嘍拏跋帝
 5 薩底耶跋帝 多髻耶跋帝 差耶跋帝 扇多⁵³蹄⁵³帝
 6 底囉跋帝 梅達囉盧寄 (十十婁十支)⁵⁴婆呵⁵⁴
 7 世尊如此神呪過去諸佛牟尼仙聖建立守護
 8 護如此神呪名月⁵⁵懂⁵⁵月能令衆生悉得吉祥
 9 歸信三寶滅除一切諸惡重罪乃至逮得无

- 36 唯³⁶惟【大】
 37 譬³⁷皆【大】 大正藏に校注なし。
 38 咩³⁸咩【大】 大正藏に校注なし。
 39 跋³⁹跋【大】
 40 咩⁴⁰咩【大】 大正藏に校注なし。
 41 下の部首が「余」。
 42 娑⁴²娑【大】
 43 娑⁴³娑【大】 大正藏の校注が正確ではない。
 44 咩⁴⁴咩【大】 大正藏に校注なし。
 45 下の部首が「余」。
 46 利⁴⁶梨【大】
 47 ■⁴⁷■⁴⁷ 跋⁴⁷籊【大】
 48 「(長十百)」の右に「(長十多十百)」の字あり。(長十百) || 髻【大】
 49 下の部首が「余」。
 50 咩⁵⁰咩【大】 大正藏に校注なし。
 51 (上十天十入十米) || 隸【大】 「隸」の異体字か。
 52 (十十婁十支) || 藪【大】
 53 蹄⁵³跋【大】 大正藏に校注なし。
 54 (十十婁十支) || 藪【大】
 55 「名月」の右に「日」の字あり。
 56 懂⁵⁶|| 幢【大】

- 10 上涅槃月藏菩薩說是呪時三千大千世界
- 11 六種震動依欲界色界一切衆生皆大戰悚
- 12 驚怖不安于時諸天雨種種寶種種華種種
- 13 香種種末香種種衣服種種臥具種種纓絡⁵⁷
- 14 雨如是等種種物時如是諸物互相根⁵⁸觸出
- 15 於種種妙法音聲⁵⁹謂三寶聲三律儀聲三解
- 16 脫聲三明聲二學聲離三界欲聲三種菩提
- 17 聲无常聲苦聲无我聲空聲不恚望聲離喜
- 18 聲无生聲如體性⁶⁰聲實際聲法界聲如如聲
- 19 不去不来聲无處不建立不迷⁶¹轉不行无窟
- 20 宅无所依發精進聲檀波羅蜜聲乃至般若
- 21 波羅蜜聲慈悲喜捨四念處乃至八聖道分
- 22 聲奢摩他毗婆舍那聲四攝⁶²聲四无礙聲攝
- 23 受正法聲因緣⁶³法聲護正法聲如幻如夢如
- 24 影如響如水中月随諸衆生應得度者而攝

(第七紙) T13p300a16~

- 1 受之猷⁶⁴離流⁶⁵轉出向空閑阿蘭若處為他說
- 2 者已自行之不相違背悉皆如法堅固安住
- 3 而求一切善根聲十地聲无生忍聲十八不
- 4 共法聲一切種智聲轉法輪聲生死流轉令
- 5 住八聖道不随流轉聲降伏四魔令入无餘
- 6 涅槃聲聞是聲已此三千大千世界衆生及
- 7 地獄衆生等於彼一切諸衆生類一一衆生
- 8 皆以前身親善知識因緣⁶⁶力故随其差別所
- 9 種善根若檀若尸若脩禪定若於聲聞及緣
- 10 覺乘發心起願若於无上大菩提果發弘誓
- 11 願於彼衆生随本所習如前諸聲悉入其耳
- 12 随其善根曾所脩行造業緣皆能憶念此

57 纓絡＝瓔珞【大】

58 「根」の右に「(才+長)」の字あり。根＝振【大】 大正藏に校注なし。

59 「聲」の右に「聲」の字あり。

60 「性」の右に「性」の字あり。

61 迷＝退【大】

62 「攝(異体字か)」の右に「攝」の字あり。

63 「縁」の右に「縁」の字あり。

64 「猷」の右に「猷」の字あり。

65 「流」の右に「流」の字あり。

66 「縁」の右に「縁」の字あり。

- 13 宿命事愛重敬信佛法僧寶速來歸依彼衆
- 14 生中自有業⁶⁹悉得除盡於彼命終一時生
- 15 天及生人⁷⁰間俱至佛所而坐聽法如是畜生
- 16 餓鬼亦悉來集皆是先業親善知識因緣力
- 17 故種善根故若檀若尸乃至業⁷¹而得盡滅
- 18 其中亦有即身來至佛所聽法亦有於彼命
- 19 終生於天人來詣佛所聽受正法如是人天
- 20 悉來佛所⁷²唯除魔王及諸眷屬四阿脩羅王
- 21 并其眷屬於時三千大千世界地平如掌當
- 22 於尔時須弥山鐵圍山大鐵圍山黑山是等
- 23 諸山大海樹林皆悉不現⁷³唯除佉羅帝山其
- 24 山廣博如十四天下於中人與非人間无空

（第八紙） T13p300b11 ~

- 1 處上方亦如十四天下无量不可計无有邊
- 2 際於虛空中大衆充滿為見佛故禮拜供養
- 3 故成熟衆生見大衆集為聽法故而來集會
- 4 此三千大千世界隨其所有宮殿舍宅林樹
- 5 藥草（++ 巫）⁷⁴葉華⁷⁵菓⁷⁶衆雜寶物如是一切皆悉變
- 6 成半月而現於彼一一半月之中出是色光
- 7 如千日月和合光明遍照三千大千佛土如
- 8 是色相廣大莊嚴是時十方无邊佛土一切
- 9 皆現於彼佛土菩薩摩訶薩釋天王梵天王
- 10 及餘天王龍王夜叉王緊那羅王一切神王
- 11 承佛威神得見此佛及大衆集復見如是妙
- 12 色光明見已皆悉發意欲來承佛神力於一
- 13 念頃即至佛所禮拜供養至心聽法
- 14 尔時月藏菩薩摩訶薩以天寶⁷⁴末天華⁷⁵天香
- 15 天鬘天衣散於佛上三遍散已右遶⁷⁶三匝住

⁶⁷ 鄣⁷⁷障【大】 大正藏に校注なし。
⁶⁸ 「人」の右に「人」の字あり。
⁶⁹ 鄣⁷⁸障【大】 大正藏に校注なし。
⁷⁰ 唯⁷⁹惟【大】 大正藏に校注なし。
⁷¹ 唯⁸⁰惟【大】 大正藏に校注なし。
⁷² 「（++ 巫）」の右に「茎」と朱書きあり。
⁷³ 菓⁸¹果【大】 大正藏に校注なし。
⁷⁴ 「末」の右に「末」の字あり。末⁸²末【大】
⁷⁵ 華⁸³花【大】 大正藏に校注なし。
⁷⁶ 迺⁸⁴匝【大】 大正藏に校注なし。

- 16 立佛前合掌白言大德婆伽婆我有罪過不
- 17 及於此大衆集會十方所有菩薩摩訶薩於
- 18 此悉集我有因緣後來至此大德婆伽婆我
- 19 在本國月勝世界與諸眷屬七日之中入阿
- 20 頗那迦定從定起已即問日月光如來大德
- 21 婆伽婆徒レ衆眷屬今何所去日月光佛即答
- 22 我言善男子東方去此過百千億佛世界已
- 23 次有世界名曰娑婆彼土有佛号釋迦牟尼
- 24 如來應供正遍知住世說法未入涅槃今於

(第九紙) T13p300c07~

- 1 彼處大衆集會十方諸佛國土所有菩薩摩
- 2 訶薩一切皆集於彼世界為見釋迦牟尼佛
- 3 禮拜供養聽大集經故我眷屬亦復往彼汝
- 4 今亦可詣彼佛所禮拜供養說月憧月呪以
- 5 是因緣我來在後是時月藏菩薩而說偈言
- 6 唯レ佛獨是衆生父 於煩惱火而救拔
- 7 我今謝過最勝佛 以我因緣後來故
- 8 唯レ佛人天作大明 普照十方諸國土
- 9 我今謝過佛法王 以我因緣後來故
- 10 唯レ佛能示涅槃道 趣惡道者追令迴
- 11 謝過牟尼大商主 以我因緣後來故
- 12 唯レ佛世間大醫師 於失明者與法眼
- 13 謝過最勝大醫王 以我因緣後來故
- 14 唯レ佛能示諸船筏 令衆生度四疾河
- 15 謝過人中最勝者 以我因緣後來故
- 16 唯レ佛慈雲降法雨 洗衆生意煩惱垢

77 「徒」の右に「徒」の字あり。
 78 憧レ幢【大】 大正蔵に校注なし。
 79 唯レ惟【大】 大正蔵に校注なし。
 80 唯レ惟【大】 大正蔵に校注なし。
 81 唯レ惟【大】 大正蔵に校注なし。
 82 唯レ惟【大】 大正蔵に校注なし。
 83 「醫」の右に「醫」の字あり。醫レ醫【大】 大正蔵に校注なし。
 84 醫レ醫【大】 大正蔵に校注なし。
 85 唯レ惟【大】 大正蔵に校注なし。
 86 船レ船【大】 大正蔵に校注なし。
 87 筏レ筏【大】 大正蔵に校注なし。
 88 唯レ惟【大】 大正蔵に校注なし。

- 17 謝過大聖勝法尊 以我因緣後來故
- 18 唯佛一人於四流 能度衆生三有海
- 19 謝過世尊實語者 以我因緣後來故
- 20 唯⁹⁸佛開諸正法藏 以七聖財濟衆生
- 21 謝過大勝法施主 以我因緣後來故
- 22 唯⁹⁹佛能與衆生眼 於无明闇拔盲瞽
- 23 我本端坐一二昧 阿頗那禪心安住
- 24 我不見佛現神變 以我因緣後來故

(第十紙) T13p301a02~

- 1 佛言善哉善哉善男子汝大精進能於七日
- 2 入深禪定如是妙定是丈夫住處是如來住
- 3 處无上住處善男子汝及眷属七日安住阿
- 4 頗那迦禪以是義故今悉成就无量億那由
- 5 他百千諸天龍王夜叉阿脩羅緊那羅人非
- 6 人等於阿耨多羅三藐三菩提除其業¹⁰⁰衆
- 7 生⁹³鄣⁹⁴法⁹⁵禪⁹⁶鄣⁹⁷煩惱⁹⁸覺分⁹⁹悉滅无餘彼
- 8 諸衆生有得不忘菩提心三昧者於无上道
- 9 不退轉者復有衆生於一切佛法得大明忍
- 10 彼等衆生以此善根不久於阿耨多羅三藐
- 11 三菩提而成正覺如是善男子汝以七日入
- 12 禪定故一時能滅衆生大苦令得成就大福
- 13 德聚善男子若有衆生唯⁹⁹依讀誦欲求阿耨
- 14 多羅三藐三菩提者是人多喜¹⁰⁰著於世俗以
- 15 世俗故尚不能¹⁰⁰調己心煩惱何能調伏他人
- 16 煩惱善男子善女人樂著讀誦求菩提者便
- 17 有嫉妬¹⁰⁰求名利富貴高心自是輕慢毀他以

89 唯⁹⁸惟【大】 大正藏に校注なし。
 90 唯⁹⁹惟【大】 大正藏に校注なし。
 91 鄣⁹³障【大】 大正藏に校注なし。
 92 鄣⁹⁴障【大】 大正藏に校注なし。
 93 鄣⁹⁵障【大】 大正藏に校注なし。
 94 鄣⁹⁶障【大】 大正藏に校注なし。
 95 鄣⁹⁷障【大】 大正藏に校注なし。
 96 鄣⁹⁸障【大】 大正藏に校注なし。
 97 唯⁹⁹惟【大】 大正藏に校注なし。
 98 喜¹⁰⁰恚【大】 大正藏に校注なし。
 99 能¹⁰⁰得【大】 大正藏に校注なし。
 100 「妬」の右に「妬」の字あり。妬¹⁰⁰妬【大】

- 18 自高故尚不能得欲界善根何況能得色无色界一切善根又不能得聲聞菩提何況能得辟支佛道及无上菩提何以故第一義諦
- 19 阿耨多羅三藐三菩提不與聲聞辟支佛共
- 20 是故非以世俗能得阿耨多羅三藐三菩提
- 21 最勝善根大福德聚善男子譬如星火不能
- 22 枯竭甚深大海如是如是善男子不以世俗

(第十一紙) T13p301a26~

- 1 能竭自身煩惱大海何能竭他衆生煩惱善
- 2 男子譬如一人口所吹風不能損壞世界大
- 3 地如是善男子不以世俗能得成就大慈大
- 4 悲善男子譬如藕絲不能稱¹⁰¹動須弥山王如
- 5 是善男子不以世俗能自滿於阿耨多羅三
- 6 藐三菩提智何能令他得第一義如是善男
- 7 子能成就阿耨多羅三藐三菩提智者非世
- 8 俗也何者是第一義所謂脩造一切福事若
- 9 脩福者亦當(婁十支)¹⁰²(婁十支)薰¹⁰³脩身心若脩身者則能
- 10 脩心能脩心者則能脩慧若能脩身¹⁰⁴心脩
- 11 慧如是之人則能速滿六波羅蜜能以四事
- 12 攝諸衆生成熟於阿耨多羅三藐三菩提成等
- 13 正覺不以世俗也於世俗中復有衆生計斷
- 14 常二見者非第一義復有衆生於世俗中我
- 15 見邊見亦非第一義復有衆生於其世俗求
- 16 現世樂及後世樂亦非第一義而我不見更
- 17 有一法能盡業¹⁰⁵鄣¹⁰⁶乃至煩惱¹⁰⁷鄣¹⁰⁸一日一夜令
- 18 无量億那由他百千衆生悉得敬信佛法僧
- 19 寶成熟安住无上大乗若有禪士雖復持戒
- 20 不能具足禪法不周未得三昧是人於禪若
- 21 坐若行初夜後夜得與禪定相應而住則能
- 22 除斷无量業¹⁰⁹鄣¹¹⁰能令多億那由他百千衆生

¹⁰¹ 稱¹¹¹ 稱【大】

¹⁰² 「(婁十支)」の右に「(婁十支)」の字あり。(婁十支) 〓 數【大】

¹⁰³ 薰¹¹² 薰【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁴ 一脩【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁵ 鄣¹¹³ 鄣【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁶ 鄣¹¹⁴ 鄣【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁰⁷ 鄣¹¹⁵ 鄣【大】 大正蔵に校注なし。

23 悉得歸信成熟菩提種種善根福德之聚況
24 具持戒得真法三昧諸陀羅尼忍得四梵住

(第十一紙) T13p301b21~

- 1 宴坐寂定於七日中所得福德不可思議不
- 2 可為喻何況能除衆生鄣¹⁰⁸煩惱鄣¹⁰⁹等盡滅无
- 3 餘乃至成熟无量衆生向阿耨多羅三藐三
- 4 菩提亦能積集无量福聚又能滿足六波羅
- 5 蜜何以故是脩禪者若行若坐除諸鄣¹¹⁰法令
- 6 心清淨於一切行捨攀緣想是檀波羅蜜於
- 7 捨攀緣想常不休息是尸波羅蜜於諸境界
- 8 不生瘡疣是羸提波羅蜜不捨於離是毗梨
- 9 耶波羅蜜於諸事中心不放縱是禪波羅蜜
- 10 諸法體性三无生樂忍二般一若波羅蜜復次若於
- 11 境界不起擾濁是檀波羅蜜若於境界无有
- 12 瘡疣是尸波羅蜜若於境界不能染汚是羸
- 13 提波羅蜜若於境界无有動轉是毗梨耶波
- 14 羅蜜若於境界无有計念是禪波羅蜜若於
- 15 境界一向清淨行是般若波羅蜜復次於諸
- 16 陰捨是檀波羅蜜於諸陰不計念是尸波羅
- 17 蜜於諸陰求无我想是羸提波羅蜜於諸陰
- 18 起怨家想是毗梨耶波羅蜜於諸陰不令熾
- 19 然是禪波羅蜜於諸陰畢竟棄捨是般若波
- 20 羅蜜復次於諸界捨是檀波羅蜜於諸界不
- 21 擾一濁是尸波羅蜜於諸界捨因緣是羸提波
- 22 羅蜜於諸界(婁十支)¹¹⁵棄捨是毗梨耶波羅蜜於
- 23 諸界不起發是禪波羅蜜於諸界如幻想是
- 24 般若波羅蜜復次菩薩於諸衆生起於慈心

(第十二紙) T13p301c16~

108 鄣二障一【大】 大正藏に校注なし。
 109 鄣二障一【大】 大正藏に校注なし。
 110 鄣二障一【大】 大正藏に校注なし。
 111 「性」の右に「性」の字あり。
 112 十是【大】
 113 「般」の右に「般」の字あり。
 114 「擾」の右に「擾」の字あり。擾二擾一【大】
 115 「(婁十支)」の右に「(婁十支)」の字あり。(婁十支) 二數一【大】

- 1 是檀波羅蜜於諸衆生心无憎愛是尸波羅蜜於諸衆生起於悲想是羸提波羅蜜於諸衆生起救濟想是毗梨耶波羅蜜於諸衆生以喜攝想是禪波羅蜜於諸衆生不作彼此吾我等想是般若波羅蜜復次菩薩於諸衆生以法施之不生二想是檀波羅蜜於諸衆生柔和愛語是尸波羅蜜於諸衆生不起諸惡是羸提波羅蜜於諸衆生愛語不退是毗梨耶波羅蜜於諸衆生利益憐愍是禪波羅蜜於諸衆生同行其法是般若波羅蜜復次菩薩安置衆生於諸善處是檀波羅蜜於一切法而不依倚是尸波羅蜜於一切法以一道入是羸提波羅蜜於一切法及一切難无擾濁想是毗梨耶波羅蜜於一切法而不分別是禪波羅蜜能以一字入一切法為衆生說是般若波羅蜜
- 16 是般若波羅蜜
- 17 善男子如是菩薩摩訶薩以此第一義甚深法要能滿六波羅蜜非世俗也如是如是善男子諸菩薩摩訶薩等第一義諦善巧方便皆以此法自為他勤脩令滿六波羅蜜速於阿耨多羅三藐三菩提而成正覺如是十方現在諸餘世界所有菩薩摩訶薩等第一義諦善巧方便一切皆悉以此道法速於阿耨多羅三藐三菩提而成正覺當來十方无量阿僧祇諸佛世界諸菩薩摩訶薩等皆悉勤脩如是甚深第一義諦善巧方便脩六波羅蜜能於阿耨多羅三藐三菩提而成正覺非世俗也彼諸菩薩摩訶薩為法眼久住紹三寶種使不斷絕勤求脩學¹¹⁶為一切衆生執¹¹⁷大明炬而作照明令其止息煩惱道苦道與其慧眼令度一切三有流轉安置¹¹⁸无上菩提

（第十四紙）T13p302a11～

- 1 量阿僧祇諸佛世界諸菩薩摩訶薩等皆悉勤脩如是甚深第一義諦善巧方便脩六波羅蜜能於阿耨多羅三藐三菩提而成正覺非世俗也彼諸菩薩摩訶薩為法眼久住紹三寶種使不斷絕勤求脩學¹¹⁶為一切衆生執¹¹⁷大明炬而作照明令其止息煩惱道苦道與其慧眼令度一切三有流轉安置¹¹⁸无上菩提

¹¹⁶ 「學」の右に「學」の字あり。

¹¹⁷ 「執（異体字か）」の右に「執」の字あり。

¹¹⁸ 「置」の右に「置」と朱書きあり。

- 8 之道彼等於聖法¹¹⁹。然初夜後夜捨得相應
- 9 善能出生三昧正受與三解脱門相應而住
- 10 善男子汝今七日於阿頗那迦禪而入定故
- 11 成熟无量諸衆生故是故勸¹²⁰。汝及諸善男子¹²¹
- 12 等若現在世未來世末世於我法中初夜後
- 13 夜常與於捨相應而住以正法眼而作照明
- 14 紹隆¹²²。三寶使不斷故為成熟衆生故勤脩如
- 15 是第一義諦為滿六波羅蜜勤脩而住佛告
- 16 一切諸天人衆龍神夜又應當養育供給是
- 17 人衣服飲食 (臣+ト) ¹²³具湯藥隨其所須盡給與之
- 18 亦當守護除其灾橫離諸凶衰殃惡疾病悉
- 19 令除滅何以故與禪相應者是我真子從佛
- 20 口生從法化生若有施主天龍夜又能於現
- 21 世及未來世與捨相應以第一義諦為滿六
- 22 波羅蜜故為除衆生諸煩惱道及苦道故法
- 23 眼久住紹三寶種使不斷故汝等施主天龍
- 24 夜又皆應護養并與衣服飲食 (臣+ト) ¹²⁴具病瘦湯

(第十五紙) T13p302b06~

- 1 藥隨其所須盡給與之亦應勸請及以讚¹²⁵歎
- 2 以彼施主天龍夜又持我正法為欲令我法
- 3 眼久住紹三寶種使不斷故如是等輩是我
- 4 真子從佛口生從法化生故比丘比丘尼優
- 5 婆塞優婆夷及餘清信士若善男子善女人
- 6 以第一義乃至求於阿耨多羅三藐三菩提
- 7 者及養護者我以彼等寄付於汝弥勒為首
- 8 及以賢劫諸菩薩等當以四事攝受勸化授
- 9 其禁戒復令住於四无量心四禪四无色定
- 10 大方便力大慈大悲乃至十八不共法當復
- 11 授與无上道記
- 12 尔時弥勒菩薩摩訶薩以為上首及與賢劫

¹¹⁹ 嘿¹¹⁹ 默【大】 大正藏に校注なし。

¹²⁰ 「勸」の右に「勸」の字あり。

¹²¹ 子¹²¹ 女【大】

¹²² 「隆 (異体字か)」の右に「隆」の字あり。

¹²³ (臣+ト) ¹²³ 具湯藥に校注なし。

¹²⁴ (臣+ト) ¹²⁴ 具病瘦に校注なし。

¹²⁵ 「讚 (異体字か)」の右に「讚」の字あり。

- 13 諸菩薩等白佛言世尊如是如是大德婆伽
- 14 婆我當¹²⁸護念彼諸衆生乃至與其授於阿耨
- 15 多羅三藐三菩提記若現在世及未來世乃
- 16 至法住是諸施主作大明者亦當與授无上
- 17 道記天龍夜叉¹²⁷闍婆等於阿蘭若處靜
- 18 嘿¹²⁸脩行求第一義者信樂受持供養供給
- 19 衣服(臣十ト)¹²⁹具乃至湯藥隨所須者尔時世尊
- 20 欲重明此義而説偈言
- 21 於此世間一日出 无量億華悉開敷
- 22 如佛一人出世間 衆生所¹³⁰怖福華現
- 23 若欲速得十勝力 及¹³¹渡堅固誑煩惱
- 24 復欲速得最勝定 靜嘿¹³²獨住阿蘭若

(第十六紙) T13p302c01~

- 1 欲得人天信敬受 及除心之煩惱渴
- 2 欲斷於心苦重擔 安心聖道奢摩他
- 3 若欲¹³³排却諸惡難 及諸功德自莊嚴
- 4 於諸苦海欲自¹³⁴渡 應當安心妙菩提
- 5 若欲得彼七法財 及欲得於方便忍
- 6 欲為衆生說妙法 常當樂住阿蘭若
- 7 六根常與三昧合 應當寂住阿蘭若
- 8 少欲頭陀善知足 此人能入¹³⁵賢聖道
- 9 若能速捨五欲樂 得五力故滅煩惱
- 10 若於五道度衆生 自捨過惡住三昧
- 11 若欲得於四无量 及得无礙四辯才
- 12 欲得四禪彼岸處 是人應脩第一義
- 13 若欲速知於三有 欲知諸法苦无常
- 14 及知諸行性相空 應當樂住阿蘭若
- 15 若欲速知二種法 毗婆舍那奢摩他

¹²⁶ 「當」の右に「當」の字あり。

¹²⁷ 軋ニ捷【大】

¹²⁸ 嘿ニ默【大】 大正蔵に校注なし。

¹²⁹ (臣十ト) ニ臥【大】 大正蔵に校注なし。

¹³⁰ 怖ニ怖【大】

¹³¹ 渡ニ度【大】

¹³² 嘿ニ默【大】 大正蔵に校注なし。

¹³³ 「排」の右に「排」の字あり。排ニ排【大】

¹³⁴ 渡ニ度【大】

¹³⁵ 入ニ入【大】 大正蔵に校注なし。

16 及欲速知有為過 要當住於菩提心
 17 獨住閑靜不放逸 便能疾捨於世諦
 18 以精進求第一義 能速捨離諸惡道
 19 若欲枯竭膿血海 及欲枯竭煩惱海
 20 若欲速竭三有海 常與聖種心相應
 21 若欲成熟衆生海 若欲滿諸大願海
 22 若欲得知生死際 如救頭然¹³⁶處閑靜
 23 欲知本生及居處 久遠微細所從來
 24 以諸方便樂閑靜 攝心於彼得三昧

(第十七紙) T13p302c25~

1 若欲遊戲禪定海 若欲覺悟神通海
 2 若欲渡¹³⁷於渴愛海 若欲得於天中取
 3 若欲得飲正法海 若欲見於莊嚴土
 4 若欲見於諸佛海 欲問甚深諸義海
 5 欲得如是勝功德 及欲速得勝菩提
 6 當離衆惱住蘭若 以此得道亦不難
 7 若人百億諸佛所 於多歲(婁十支)¹³⁸常供養
 8 若能七日在蘭若 攝根得定福多彼
 9 若人讀誦千億法 及解妙義如佛說
 10 若於七日住蘭若 三昧福聚轉多彼
 11 若人多歲營僧事 更不造作餘種業
 12 若能¹³⁹七日住蘭若 其人福聚多於彼
 13 為衆說法解深義 於多年歲无餘業
 14 若能七日心住寂 其福德聚不可(婁十支)¹⁴⁰
 15 若人營造多佛塔¹⁴¹ 伽藍田業給施僧
 16 若能七日在蘭若 其福轉多勝於彼
 17 閑靜无為佛境界 於彼能得淨菩提
 18 若人謗彼住禪者 是名毀¹⁴²謗諸如來
 19 若人破塔多百千 及以焚燒百千寺
 20 若有毀謗住禪者 其罪甚多過於彼

¹³⁶ 然¹³⁶燃【大】
¹³⁷ 渡¹³⁷度【大】
¹³⁸ (婁十支) || 數【大】
¹³⁹ 能¹³⁹人【大】
¹⁴⁰ (婁十支) || 數【大】
¹⁴¹ 「塔(異体字か)」の右に「塔」の字あり。
¹⁴² 「毀」の右に「毀」の字あり。

21 若有供養住禪者 飲食衣服及湯藥
 22 是人消滅无量罪 亦不墮於三惡道
 23 是故我今普告汝 欲成佛道常在禪
 24 若不能住阿蘭若 應當供養於彼人

(第十八紙) T13p303a20~

1 若能住禪不放逸 則能速滿於六度
 2 欲求大明菩提道 以此方便疾能到
 3 欲求菩提住寂靜 當捨一切諸緣業
 4 及離煩惱捨諸樂 則能速到檀彼岸
 5 若於¹⁴³境界陰界入 及捨貪瞋愚癡過
 6 棄諸煩惱脩善業 以此能到檀彼岸
 7 當以慈悲念衆生 息諸分別不自是
 8 常能憐愍諸衆生 則¹⁴⁴滿尸羅波羅蜜
 9 勤捨罪業脩諸禪 亦當捨諸陰界入
 10 愛語¹⁴⁵方便常求禪 除¹⁴⁶鄣¹⁴⁷到於精進岸
 11 境界不動不味著 為捨因緣脩悲喜
 12 一道清淨不移動 以此得滿忍辱度
 13 於境界中不念慮 離¹⁴⁸嫉¹⁴⁹不樂得於喜
 14 諸法離掉无分別 不染不愁是為捨
 15 陰界如幻无起作 相續脩行不斷絕
 16 善脩了知如是法 以此得滿般若度
 17 故我今告一切衆 若有欲除諸罪業
 18 求忍三昧陁羅尼 當知如是住寂靜
 19 若欲超越聲聞乘 及欲超越緣覺乘
 20 又欲疾得勝佛地 應當速住阿蘭若
 21 若心攝住阿蘭若 以此即是供諸佛
 22 於是能捨一切罪 是則能滿於六度
 23 當得作佛三有最 能轉清淨正法輪
 24 枯竭衆生諸惡趣 度脫衆生三有海

(第十九紙) T13p303b15~

¹⁴³ 「於」の右に「捨」の字あり。於¹⁴⁴捨【大】
¹⁴⁴ 則¹⁴⁵即【大】
¹⁴⁵ 語¹⁴⁶諸【大】
¹⁴⁶ 鄣¹⁴⁷障【大】 大正藏に校注なし。
¹⁴⁷ 嫉¹⁴⁸疾【大】

- 1 當捨惡見諸緣事 當¹⁴⁸發最勝菩提心
- 2 應當速向蘭若處 於彼當成如是德
- 3 尔時世尊說此經時諸會大眾聞是甚深第
- 4 一義禪有於過去善脩集者九万二千人得
- 5 无生法忍七十億那由他百千衆生得種種
- 6 三昧諸陀羅尼及无生忍八万一千人得受¹⁴⁹
- 7 阿耨多羅三藐三菩提記如恒河沙等衆生
- 8 未發无生¹⁵⁰菩提心者悉皆發心於阿耨多羅
- 9 三藐三菩提得不退轉

大集月藏經卷第一¹⁵¹

- 11 皇后藤原氏光明子奉為
- 12 尊考贈正一位太政大臣
- 13 府君尊妣贈從一位橘氏
- 14 太夫人敬寫一切經論及
- 15 律莊嚴既了伏願憑斯
- 16 勝回奉資冥助永庇苦
- 17 提之樹長遊般若之律
- 18 又願上奉 聖朝恒
- 19 延福壽下及寮采共盡
- 20 忠節又光明子自發誓言
- 21 弘濟沈淪勤除煩障妙窮
- 22 諸法早契菩提乃至傳燈
- 23
- 24

(第二十紙)

- 1 無窮流布天下聞名持卷獲
- 2 福消灾一切迷方會歸覺
- 3 路
- 4 天平十二年五月一日記
- 5
- 6
- 7 天平勝寶七歲十月十七日正八位下守少内林¹⁵²連廣野正

¹⁴⁸ 當^レ常【大】
¹⁴⁹ 受^レ授【大】
¹⁵⁰ 「生」の右に「上」の字あり。生^レ上【大】
¹⁵¹ 尾題部分に印記あり。

8 大安寺沙門琳躰讀

9 沙門敬明 沙門玄藏 沙門璟忍 沙門行脩證

（後補軸付紙）

昭和九年十月修理

監督 帝室博物館總長杉 榮三郎（花押）

主任 奈良帝室博物館長心得和田軍（花押）

152 「内」と「林」の字の間の右に「記」の字あり。